

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	マーケットインに立ったりんご生産とブランド化～生産者が消費者に直接届けます～
事業主体 (連絡先)	あっぷるぼういず (長野県北安曇郡松川村 5651-218)
事業区分	(6) ーイ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,271,412 円 (うち支援金 : 979,000 円)

事業内容

今まで消費動向調査を行っていなかった都市圏での、「消費者が求めるりんご」を調査する一方、勉強会を通じ、高品質りんごの安定供給、品質技術の向上を図りブランドりんごの生産を目指します。

調査先、Vファーマーズ松坂店、Vファーマーズ稲沢平和店、白馬八方尾根、石川の農林漁業まつり、春日井まつり、全国ふるさと観光物産展(大阪府)

調査対象、試食していただいた 21,750 名。



【対面販売の様子】

【目標・ねらい】

- ① 消費者が好む、求めるりんごの品室調査と長野県オリジナル品種の知名度調査
- ② 勉強会と検査機器を多用し、高品質りんごの安定生産を図り、産地力、ブランド力の確立。

事業効果

- ① 長野県オリジナル品種の知名度と評価。シナノスイート 37%、シナノゴールド 18%、秋映 9%、シナノドルチェ 0.3%。総じて食味等の評価は高かったものの、地域によっては長野県オリジナル品種の流通がなく、販売機会を逸しているのが現状でした。好まれる品種は、ふじ、シナノスイート、シナノゴールド、秋映、シナノドルチェの順。日本人の傾向として、酸味よりも甘味、大きいサイズよりも少数数家族でも食べきれの中、小玉サイズが好まれ、果皮の色(赤、黄、青など)による偏見がなくなり、味と食べやすさ重視になってきました。

- ② 講習会を通じ栽培技術の向上と適期収穫に努めたこともあり、会員である平林智彦が長野県園芸特産振興展品評会くだもの部門「シナノゴールド」で農林水産大臣賞(1位)、「シナノスイート」は県園芸生産振興協議会長賞(3位)を獲得。ふじに関しては、夏秋の不安定な天候もあって、松川村では褐斑病という病気が萬榮したため、会員内においても品質をやや落とした。

ふじ秀品率 60%→71.6% (目標 70%以上)

規格外りんご廃棄りんごの減少 10%→8%(目標 5%以下)

※自己評価【B】

【理由】

消費動向調査を経て、マーケットインに立ったりんご生産とブランド化に必要な情報を獲得した。

勉強会を通じてりんごの高品質化は進んだものの、天候不良があって、ふじの規格外りんごの減少の目標が未達となった。

今後の取り組み

今回の消費動向調査によって、これからの新植、改植時に選択する品種構成が判断しやすくなった。引き続き、地方都市や観光名所などで対面販売を実施し、消費者ニーズを直接感じ取り、マーケットインに立ったりんご生産とブランド化を目指す。

勉強会や土づくりは、複数年行っていく必要があるため、地域特性を判断できるだけのデータを公的機関と連携して蓄積し、情報を地域に還元していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある